

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			活動に合わせ十分なスペースは確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			職員の配置数は確保できている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	71.0%		29.0%	トイレなど施設構造上無理な所はあるが、手すりなどが設置され利用者に配慮しながら設備の拡充を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	71.0%	29.0%		朝礼時職員ミーティングを実施し問題解決や事業の改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			アンケートの内容を参考にし必要な業務改善を行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	86.0%	14.0%		外部評価を業務改善に繋がるように検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			職員各自が研修会や勉強会、又DVDなども活用し資質の向上を目指しております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			日々の記録や職員からの意見を参考にし計画の作成に努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			Vinelandを用いてアセスメント対応を行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			職員同士で話し合い活動プログラムの立案を立ち上げ、定期的に変更も行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	86.0%	14.0%		利用児のニーズに合わせてプログラムが固定化しないように職員で話し合いを行う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			郊外療育や学習等一日の流れや課題を決めて実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			利用児のニーズに合わせて、又職員からの意見も参考にし作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	43.0%	57.0%		朝礼などで報告を行うが、それ以外でも、変更等がある場合は職員間での打ち合わせが出来る様に検討している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14.0%	72.0%	14.0%	終了後は送迎があるため急を要する問題以外は次の朝礼の際に話し合いを行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			指導計画に基づき日々の出来事を記録している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				定期的にモニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	86.0%	14.0%			ガイドラインを参考にして実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86.0%	14.0%			児発管が参加しているが、必要に応じてふさわしい職員も参加させている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%				学校と情報交換を行い、適切な支援を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	86.0%	14.0%			現在、該当児は無いが必要に応じて検討する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	72.0%	14.0%	14.0%		必要に応じ情報共有と連携に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	86.0%	14.0%			今までは該当がないが、必要に応じ情報の提供を行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	86.0%	14.0%			受診・検診時必要には活動内容や状況報告を書面にて作成し連携を取っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50.0%	16.0%	34.0%		コロナの流行のため直接の交流は無いが、落ち着いた段階で、再度公園や児童館での交流には参加したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	84.0%	16.0%			参加を考えたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				連絡帳の記載や送迎時に保護者に対して丁寧に報告を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	67.0%	33.0%			必要に応じて出来る限りで保護者の悩みや課題に寄り添うようにしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				十分な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				家庭連携で必要な助言を行っているが、対応できない事柄は持ち帰り、職員皆で検討をする。

	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14.0%	43.0%	43.0%	仕事を持っている保護者が多い為連携を取るの難しいが、これからは父母会の活動に参加できるように考えて行きたい。
--	----	---	-------	-------	-------	--

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			担当職員が速やかに対応を行っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			会報の発行はないが行事予定などプリントでまたブログを活用し情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			同意書を取り交わし職員一同十分に注意を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			理解が得られるような伝達方法を心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	28.0%	58.0%	14.0%	以前は行事等を通して関わっていたが、今は直接の交流はコロナ感染症のため自粛している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	86.0%	14.0%		保護者には契約時、職員には避難訓練などを通じて周知を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年3回実施している。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			研修会参加と内部での勉強会を行う。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	67.0%	33.0%		現在該当なし。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	84.0%		16.0%	利用開始時に保護者からの聞き取りを行うが、現在は該当なし。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	86.0%	14.0%		日々の記録に記載するとともに、担当職員が報告者の提出を行う。	